

(様式2(1))

事業所名 グループホームはなたば

作成日: 令和 5年 2月 17日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	地域密着型サービスとしての意義や役割を考えながら理念を職員と共に共有し意識付けをして実践する必要がある。	全職員が理念の浸透と実践を図る。	カンファレンス前・申し送り前に理念の唱和を行う。	6ヶ月
2	23	「その人らしい暮らし」の情報が不足しており、介護計画に活かしてきれていない。	個別の介護計画作成の基本となる「その人らしさ」の情報を収集する。	その人の有する能力を発揮してもらえるケアができるよう、その人の思いや過去の暮らしを本人・家族から再確認し、情報を増やす。	6ヶ月
3	26	介護計画と記録の連動性が明確になっていない。	利用者の状況が共有できる記録ができる。	介護計画と連動した記録について、職員内で話し合う。毎月のカンファレンス時に適切な記録ができているか検討する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。